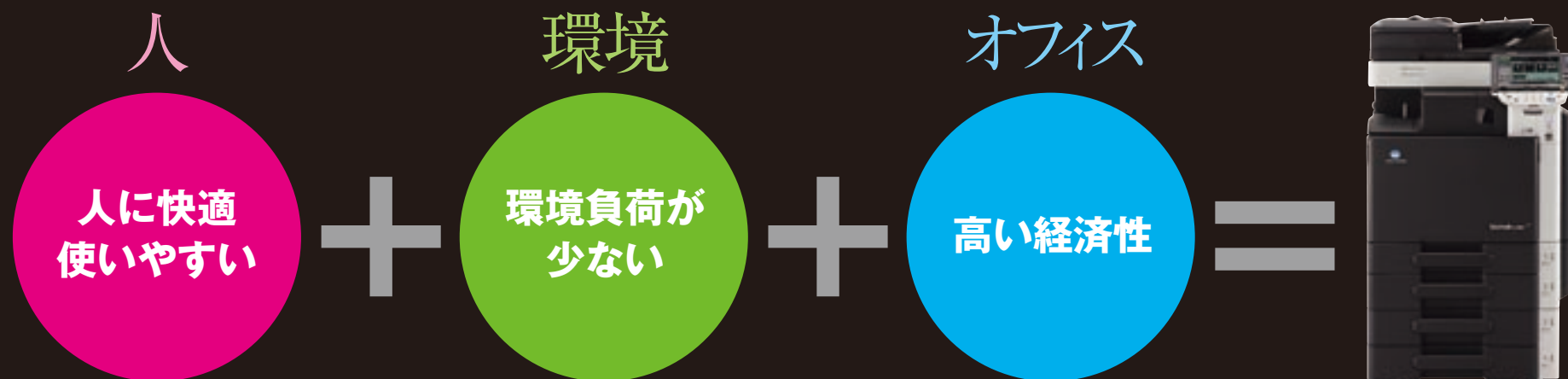


「新しい、価値の創造」を



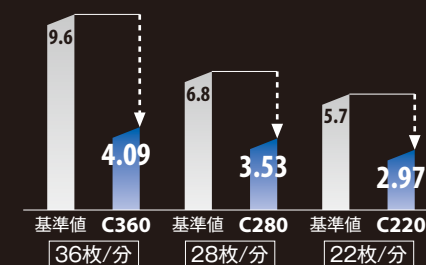
「ビジネスで使う以上、経営効率の向上につながらないといけない」「毎日、使う機器は環境に配慮されたものであってほしい」
「オフィスで働くみんなが、気持ちよく使える機器でないと意味がない」
コニカミノルタでは、これらの要望すべてに「YES!」と答えられるMFP「bizhub C220/C280/C360」を作り上げました。

「ジャンルトップ戦略」を精鋭化するbizhubの新製品

『経営方針<09-10>』での「ジャンルトップ戦略」精鋭化の取り組みのひとつとして、当年度初めから「bizhub」シリーズのラインアップをリニューアルして、新製品を続々と投入しています。今後もオフィス用カラーMFP市場におけるトップグループのポジションを堅持し、さらなる成長の実現を目指しています。

それによって従来機比で約3割、またTEC値との比較でも大幅に消費電力を削減。さらに電話回線を使わずにインターネットを利用して相手先のインターネットFAX機やパソコンに原稿を送信できる機能で通信費も低減。コンパクトなボディーはオフィススペースの有効利用につながります。

標準消費電力量(TEC値*)との比較 (kWh/週)



*TEC値(Typical Electricity Consumption)
国際エネルギースタープログラムで定められた測定法による数値

オフィスも地球も快適に

MFPは、日々、企業活動の最前線で使われる機器。だからこそ、環境負荷の低減を図るものでなければなりません。本製品は、消費電力の低減によるCO2

TCO削減のため設計を見直す

トータル コスト オフ オーナーシップ
MFPの使用や維持・管理も含めた総コスト(TCO: Total Cost of Ownership)を減らすことは経営効率の向上につながります。TCO削減のため、「bizhub C220/C280/C360」(以下、本製品)は設計を根本から見直しました。

かたちに

経営方針<09-10> 「ジャンルトップ戦略」の精鋭化

特集

削減に加え、使用時の駆動音やファン音、通紙音などを低減させ、静かなオフィス環境を実現。さらに省資源化に向けて、トナーボトル梱包箱の小型化や、分別廃棄できる消耗品の設計などを行っています。

オフィスの主役=人を大切に

コニカミノルタは、従来から「すべての人が使える機器」の実現に向け、ユニバーサルデザインを積極的に取り入れ、本製品において、より進化させています。使用頻度が高いコントロールパネル

上下(3段階)、左右(30度)に動かせる
チルトタイプの大型コントロールパネル



上下から握れるグリップ、
軽くて引き出しやすい給紙トレイ

は、車椅子に座っても操作しやすいように適正位置を決定。パネルに組み込んだカラー液晶画面では、トナーの補給手順や万が一の紙詰まり処理手順を立体でわかりやすく示しています。

オフィスの中心に置くMFP

オフィスの真ん中にMFPを置ければもっと便利になるはず。本製品はそれを意識して開発しました。ケーブル類を収納して背面をすっきりさせた全方位デザインはもとより、同時に複数の仕事をこなせる高い生産性や仕事を邪魔しない優れた静粛性能、そして細部にまでこだわった使い勝手の良さを実現。本製品はオフィスの中心に置くMFPとして、オフィス作業の効率を高める、あらゆる配慮を行っています。



背面もフラット化した
新スタイリッシュデザイン

お客さまが求める機能を実現して新たな価値を創造

「きれいに出力できること以外にどんな価値を創造できるか」を徹底的に考え抜いた結果、本製品が誕生したといえます。現在、オフィスでは、お客さまのワークフローに合わせたきめ細かい機能の充実によって、より快適なオフィスワークの実現が求められています。それに応えて、各種のコスト削減機能や環境に配慮した技術を駆使することに加えて、オフィス作業の生産性向上と効率化を追求し、誰にとってもストレスが少なく、快適に使える製品であることにこだわりました。今後も、お客さまのビジネスの成功の手助けをする製品・サービスを送り出していきたいと考えています。



コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社
事業統括本部 オフィス商品企画部 1グループ
おおば さとし
係長 大峽 哲

より多くの人にとって「スマートで心地よい」デザイン

「使わないときもオフィスで邪魔にならない機器のデザインとは」を命題に、オフィス機器では画期的な黒のボディに、お客さまが操作する部分を「インフォメーションライン」と呼ぶ白いL字の帯に配し、分かりやすさと、オフィスファニチャーとしての「スマートさ」を両立させました。さらに、より多くの人々が「心地よく」簡単に使えるオフィス機器を目指して、「bizhub」シリーズの展開当初から力を入れているユニバーサルデザインを継承し、操作ボタンの配置や大きさ・色をより使いやすくするのはもちろん、力を込めなくても操作しやすいように給紙トレイの引き出しを軽くするなど工夫しました。本製品の発売後は、デザインを購入動機とするお客さまが増加するなど、手応えを感じています。今後もオフィスで心地よく使える機器のあり方を追求していきます。



コニカミノルタテクノロジーセンター株式会社
デザインセンター 第1デザイングループ
いりたに ゆう
プロダクトデザイナー 入谷 悠